

2023年10月12日

生成AIの取り扱いについて

日本赤十字看護大学

1. 大学の基本姿勢

生成AIは、大量のデータを高速処理することによって、新しい情報を生成する能力をもつツールとして、社会的に注目されています。生成AIが私たちの生活にもたらす可能性は、プラス面・マイナス面を含め、はかり知れません。

本学は看護学の教育・研究機関として、いのちに関する人間の営みに関心を寄せ、人びとが、持てる力を発揮して、その人らしく生活し、最期までその人らしい生を送れるように援助することを探求する人材の育成を目指しています。そのためには、学部生、大学院生の皆さんが自ら課題を見出し、主体的に取り組む姿勢を養うことが非常に重要だと考えています。

そこで、生成AIの技術を利用することに関しては、そのメリットとデメリットを考慮し、下記の留意事項について十分に注意したうえで、活用するようにしてください。

2. レポート・論文作成時の使用についての留意点

1) 生成AIと学修活動との関係性

生成AIを用いて作成した文章等をそのまま使用することは、学生自身が探求し、創造する力を養うことには繋がりません。また、生成AIによる出力をレポートや論文、学習課題にそのまま使用するなどの不適切な利用があった場合には、不正行為となる可能性があります。

2) 生成AIによる成果物の内容の正確性

生成AIは、内容に誤った情報が含まれている、あるいはバイアスがかかっている可能性があります。そのため、使用にあたっては、常に批判的な思考を持ち、内容の確認や裏付けを行うことが必要です。

3) 機密情報や個人情報の流出・漏洩等の可能性

生成AIへの入力を通じ、機密情報や個人情報等が意図せず流出・漏洩する可能性等があるため、機密情報や個人情報等を生成AIに入力することは一切禁止します。特に、看護学実習の学習過程および研究活動においては、上記の生成AIの特性と、個人情報保護法および本学の情報管理ガイドラインに基づき、対象者の個人情報や健康関連情報、研究データを生成AIに入力してはいけません。

4) 著作権侵害の可能性

生成AIで用いられる情報源は、著作権で守られるべき成果物である可能性があります。生成AIによってつくられた文章等の利用によって、著作権を侵害することのないよう留意しましょう。

3. 今後の対応について

大学としては、今後も生成AIの技術発展や社会の動向を注視し、看護の大学教育における利用のあり方について検討を続けていきます。